

目標と今後の取り組み案について

奈良県の目標		※国の目標値	
・がんの75歳未満年齢調整死亡率を減少させる。		・がん75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少(H19年度からの10年目標)	
・がん検診受診率の向上(目標:がん検診受診率%) ※受診率の算定は、国の基準にあわせて40～69歳を対象にする。		・胃、肺、大腸がんは、当面40% 子宮、乳がんは、50% (がん対策推進基本計画より)	
・要精密検査受診率の向上(目標: %)		・要精密検査受診率:目標値90% 許容値:胃・肺・大腸がん:70%以上 子宮がん・乳がん80%以上 (※今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方についてより)	
今後の取り組み案			
1 知識普及 及 と 意識啓発		(1)がん予防及びがんの早期発見にかかる対策あり方の検討がん検診受診率向上の取り組みを検討	
	継	①がん予防対策推進委員会(受診率向上部会)の開催	
		(2)がん検診の重要性について	
	継	①広報紙(県政だより)、すこやかネットなら、マスメディア(県政スポットCM)を活用した情報発信の充実	
	継	②講演会、イベント、キャンペーンの実施	
	継	③子宮頸がんリーフレットの作成・配布	
	新	④「がん教育」のあり方を検討	
	新	⑤効果的な啓発材料について検討	
	新	⑥「親子でがんを考える」普及啓発についての検討	
		(3)がん検診受診勧奨キャンペーン	
継	①「奈良県がんと向き合う日」キャンペーンの実施		
継	②奈良県民会議の開催(医療機関・地域・民間団体が一体となった検診啓発の実施)		
継	③「奈良県がん検診応援団」県内企業による受診啓発リーフレットの配布、講演会の開催、自社社員の受診勧奨の実施		
新	④「受けてよかった!がん検診」作文コンクールの実施		
<受診率向上>			
2 がん検診 の 受診 の 促進 ・ 精度 の 向上		(1)市町村・保険者・医療機関との協議の実施	
	継	①受診者の利便性を向上させる検診体制の検討 (特定健診とがん検診の同時実施の拡大、休日や時間外にがん検診が受診できる受診機会拡大の体制整備の検討)	
	新	②主治医からの受診勧奨推奨についての検討	
		(2)保険者との連携	
	継	①協会けんぽとの連携会議の実施	
	継	②がん検診受診勧奨ちらしの配布	
		(3)市町村への支援	
	継	①受診勧奨取り組みとなる取り組みに対して、県調整交付金で支援	
	新	②がん検診受診率向上市町村個別指導事業の実施(コール・リコール実施に向けての支援)	
	<精度向上>		
	(4)市町村がん検診の精度管理状況の把握、評価、指導		
継	①奈良県がん予防対策推進委員会(精度管理部会)の開催		
継	②県・市町村・検診機関の精度管理調査(事業評価のためのチェックリスト)の実施及び結果の公表		
継	③乳がん検診機関数の確保の検討		
継	④がん検診精密検査登録医療機関制度の充実		
継	⑤胃、肺、乳がんの検診読影医の養成の検討		
継	⑥がん検診従事者研修会の実施及び充実		